

## 8-4-39 品質向上専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 活動の目的

品質の確保・向上について、管理技術面からアプローチしたエラー防止策や業務成果の品質向上策を提案することを目的とした。専門技術面のエラー防止については、技術部会の各専門委員会資料を活用することで、より効果的な活動となることを目指している。

#### (2) 委員会の開催

a) 専門委員会の開催：11回

#### (3) 品質セミナーへの参加

a) 開催時期：令和2年10月～11月

b) 開催地：オンライン形式（ビデオ配信）

c) 主催：技術部会/品質委員会

d) 参加者：全体で2,339名（内115名は発注者）  
当委員会のプログラムは、第1講「技術継承のあれこれ“やってみせ、言って聞かせて、させてみて”」とし、60分の講演を行った。

#### (4) セミナー第1講の評価（アンケート結果より）

セミナー参加者へのアンケートでは、発表内容は「非常に役に立つ」と「役に立つ」の合計が99%（昨年度98%）、講師の説明は「非常に分かり易い」と「分かり易い」の合計が98%（昨年度94%）と、昨年同様高い評価となっている。この評価は、ヒアリングで得た具体の事例に重点を置いた内容と、事前の準備に時間を割いた結果と考える。

自由意見では、下記のa)、b)や実務に直結する身近な事例がわかり易いという意見が多くあった一方、より掘り下げた内容を望む意見もあった。

a) 他社の技術継承に関する取り組み事例が大変参考になった。ベテランと若手技術者のギャップがあることが分かり大変参考になった。

b) タイムリーな話題として在宅勤務、テレワークでの品質確保の課題や工夫など、コロナ禍で情報が不足する中、貴重な情報提供は助かる。

#### (5) 品質講習会の開催

協会会員向けに以下の講習会を開催した。

a) 開催日：令和3年2月25日(木)

b) 場所：Zoom ウェビナーによるライブ配信

c) 講師：小林 晃 氏（元会計検査院調査官）  
（日本工営株式会社 技術監査室 理事）

d) テーマ：会計検査院の検査事例から学ぶ

講演では、会計検査制度や工事検査の歴史を学ぶと共に、近年の国内公共事業で発生した「不当事項（いわゆる設計エラーなど）」を中心として指摘事項の事例を紹介頂き、我々コンサルタント技術者が設計を行う際の留意点や検査院の着眼点などを講演頂いた。講演のまとめとして、以下の三点が留意点として説明された。

① 照査の徹底（複数の目で何度でも）、② 意思の疎通（発注者とのコミュニケーションを確実に）、③ 記録の保存（「言った言わない」「言った聞いてない」などを回避）。

#### (6) 品質向上施策の改善提案

業務スケジュール管理表や条件明示チェックシートなどの品質確保策に対して、施策の効果などに関するアンケートを実施した。結果は、整理・分析し、今後の改善点を提案した。

#### (7) 品質向上推進ガイドラインの改定作業

平成23年度に発行された品質向上推進ガイドラインについて、一層効果的に活用するためのツールとして、「リスクと対応の確認ツール」と「照査ツール」を作成した。この成果は令和3年度に公表する予定である。

### 2. 次年度の活動

令和3年度は、会員企業におけるテレワークでの品質管理や若手技術者の育成を中心に、日々の業務執行での工夫や悩みなどをアンケートとヒアリングで調査し、品質向上との関連性を分析、とりまとめを行い、令和3年度品質セミナー（10～11月開催予定）での発表を予定している。資料は協会HPでも紹介し、協会の「品質ブランド」の確立を目指す。

また、次年度も会員企業の取り組みについて継続的な調査を予定しており、さらに品質向上推進ガイドライン（改訂版）の普及や品質向上に関する講習会の実施を検討する。

（品質向上専門委員会委員長 上田 隆）